

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和4年度 第4回人材確保・育成部会 会議録

日 時 令和5年1月20日(金) 13:30~14:50

場 所 乙訓総合庁舎 第2会議室

出席者 11名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、こらぼねっと相談支援センター、
大山崎町社会福祉協議会、第2乙訓ひまわり園、
乙訓の里、長岡京市商工会、向日市障がい者支援課(2名)、長岡京市障がい福祉課、
大山崎町福祉課

欠席者 4名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、障がい福祉センターあらくさ
障害者支援施設晨光苑、乙訓保健所福祉課

事務局 3名

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・人材育成に携わる圏域職員の交流会 報告
- ・就職ガイダンスの報告
- ・就職フェアについて

会議概要

3 就職フェアに向けて

部会長 ・まずは、次第の3番から協議したい。

事務局 ・就職フェアのチラシを2種類資料として配付しているが、カラー印刷のものと、もう一枚は裏面のブース配置図を参考にして説明していただくことになっている。

委員

- ・例年バンビオで行っていたが空調工事のため今年は桂川イオンホールで行うことになった。
- ・参加企業のブースは17社でコロナ前と変わりはない。その中に自立支援協議会の配架ブースをおく。いすもある。
- ・当日は1時半開始だが、12時以降に会場入りができる。説明要員の人数を事前に知らせてほしい。入口を会場内に設置する。初めての場所で人の流れがどのようになるかわからない。
- ・当日はハローワークも来られ、企業の求人という形になる。自立支援協議会は資料の配布のみ

で求人受付はできないがPRをしていただきたい。

- 部会長 ・説明要員は何名までいいのか。
- 委員 ・3名まで。
- 部会長 ・広報はどのようにされているのか。
- 委員 ・長岡京市は広報に挟み込み、向日市でもコメントを入れていただいた。
・コロナ禍で厳しい状況なので他の就職フェアには来場者が多いと聞いている。
- 事務局 ・当日はこの部会で作成した事業所見学会チラシを130枚用意し、説明をする。
・当日要員はどうか。私が1時から終了までいるがあと2名お願いしたい。
- 部会長 ・市町からの委員はどうだろうか。
- 委員 ・今までそのような経験がない。
- 部会長 ・協議会の委員としては問題ないと思うが。
- 委員 ・予定があるので都合がつかない。
- 委員 ・予定が入っている。
- 委員 ・窓口業務をする者がいなくなるので参加できない。
- 部会長 ・今日出席されている部会員では無理なようなので欠席されている方にあたってみる。
- 部会長 ・各事業所のパンフレットを置くことは可能か。
- 部会長 ・基本的には自立支援協議会の事業所見学会チラシ掲載事項のPRとなる。各事業所のパンフレットは自由に持ち帰れるスタイルがいい。
- 事務局 ・各法人のパンフレットはどのように集めようか。
- 委員 ・当日持参で構わないがスペースが限られるので何種類あるか知りたい。
- 部会長 ・パンフレット参加されたい事業所はあるだろうか。ひまわり園は参加したい。
- 事務局 ・20部ぐらいでいいと思う。ひまわり園、大山崎社協、福祉会は参加、晨光苑、あらぐさ、てくてくは確認する。
- 委員 ・ここの部会員だけがパンフレットを置くのだろうか。
- 部会長 ・自立支援協議会で作ったチラシをベースにするので掲載されている事業所とするのがいいのではないか。
- 事務局 ・実際に求人をされている事業所がいい。
- 事務局 ・晨光苑とひまわり園は求人があるのだが、乙訓福祉会はどうだろうか。
- 委員 ・当法人内のライフサポートでは求人している。
- 委員 ・登録ヘルパーは求人として出したいが、療育の求人は現在ない。職種により違うので、パンフレットを出してしまうと混乱し難いと思う。
- 事務局 ・パンフレットを現在求人している職種がわかるような形にしてもらわないと、当日説明をする私にはわからない。
- 部会長 ・パンフレットを置く範囲は、チラシに掲載されている事業所でいいだろうか。
- 事務局 ・問い合わせ先が基幹相談支援センターになっていて、ひとりは就職につなげることができた。その後もう1件あった時には、チラシ掲載事業所の中で、ひまわり園と晨光苑だけが求人があり、他には求人がなくて困った。放課後デイサービスなど求人が増えているので広くあたる方がいいのか。範囲を超えてやり切るにはかなり負担となるが、どうするか検討が必要だと思う。

- 事務局 ・就職フェアは職を求めて来られるので、実際に求人があるところを紹介したい。
チラシ掲載事業所は求人している職種を報告してほしい。
・児童発達支援、放課後等デイサービス事業所に声をかけて、求人があれば、パンフレットを預かり、求職者が少しでも選べる状況を作りたい。
- 委員 ・児童通所事業所連絡会に話をしてみてもいいだろうか。
- 事務局 ・事務局のドリトルに紹介することにする。
- 部会長 ・パンフレット参加数はいつまでに連絡すればいいだろうか。
- 委員 ・2月10日までをお願いしたい。
- 部会長 ・コロナ感染で事態が変わる可能性もあるので、当日のヘルプをまたお声かけさせていただくこともあるがよろしくをお願いしたい。

1 人材育成に携わる圏域職員の交流会のまとめと今後について

- 副部会長・資料「人材育成に携わる圏域職員の交流会」を見ながら説明。
・意見をいただいて次年度どうするか協議したい。
- 委員 ・なごやかに交流できてよかった。交流だけが目的となる研修の参加には調整が難しいかもしれないが、何かの研修の一部で交流する機会が増えると輪がひろがるのでいい。
- 委員 ・前半の乙訓福祉会の話が非常に参考になった。法人をこえて研修を受けることができると思う。
- 委員 ・人材育成に関わる研修が必要だと常日頃思っているが、どうすればいいのかわかみにくい分野だった。始めるきっかけを考える機会になった。グループワークも盛り上がってよかった。
- 委員 ・前半の発表をしたが、時間配分で反省するところがあった。グループワークではなかなかできない込み入った話ができる交流の場となりよかった。悩みが解消されて有意義だった。
- 部会長 ・この部会は来年度1年間を目途に終結する予定である。次年度どういう形でやるのか、やらないのか。この部会がずっと仕切って交流会を行うことはない。
・最初盛り上がるかどうか不安ではあったが、話ながらいろんな話がふくらんでよかったので、来年度もこういう場を確保してつながりを発展させてはどうかと思う。
- 副部会長・今回の交流会で十分なものは得られたのではないと思う。
・小規模事業所同業種の悩みを取り上げる必要があるのではないか。小さい単位での研修会をするか、研修担当と限定しない交流会が必要という部分も出ている。定例化するより自立支援協議会で必要になった時に考えてもいいのではないだろうか。
- 部会長 ・必要に応じて開催するならどこが主催するのか。
- 副部会長・交流会がメインなら別の形でできるのではないか。
- 委員 ・自立支援協議会主催する研修だから出やすい、業務時間内に行ける。そうではない交流会となると行かなくていいとなる不安がある。
- 委員 ・今年度の交流会に参加して事業所に持ち帰り何か成果があったという報告をする場を次年度設けるという考え方もいいのではないか。
- 部会長 ・基幹相談支援センターで実施する研修のテーマはどのように設定されているのか。
- 事務局 ・相談支援専門員の資質向上を目的にしている。

- 委員 ・以前参加した基幹相談支援センター主催研修に、記録の書き方に関するものがあってとても勉強になった。相談員だけではなく市役所の職員にも参加してほしいものだった。
- 部会長 ・広い意味で解釈できるなら、その中に3年に1回人材育成に関わるものを入れてもらってもいいのではないか。
- 事務局 ・相談支援プロジェクトでも相談支援専門員のバックアップを考えているが、あれもこれもは予算も限られているので難しい。
・「大きな事業所の研修に参加したい」「他事業所の見学をしたい」という小規模事業所の方からの声がたくさんあった。事業所間で実現できればという理想もある。
- 部会長 ・いろいろな意見が出たが、来年度も交流会を実施した方がいいと思われる方は挙手をお願いしたい。
- 部会員 ・全員挙手。
- 事務局 ・今年度を踏まえて次年度も実施する。それ以降は、継続課題としたい。

2 就職ガイダンスの報告

- 部会長 ・資料「就職ガイダンスの報告」を見ながら説明。
- 委員 ・保育科なので初めはこらぼに興味集中したが、どこのブースも熱心に話を聞いておられた。まじめな子がいるというのが第一印象だった。
・動画があって説明があってよかったという感想が多く、今時だと思った。
・自分の事業所の話ばかりではなく、福祉の制度や職種の説明をした方がよかったかなと思ったが、アンケート結果を見て、当日の形でよかったと思えた。
・障がい福祉に関して丁寧な説明があってもよかったが、時間のしほりもあるので難しかったとも思う。どんなところなのか、何をするとところなのか学生は知らないと思う。
- 部会長 ・知らない人へ向けた話は、専門用語を使わずにかみくだいてしなければならない。制度の話をすると授業のようになるので学生の興味は冷めると思う。
- 委員 ・10分の説明を3回やって3回とも失敗した。難しいと思った。資料を配って生徒とのやりとりをメインに引き出せたらよかった。でも良い感想がたくさんあったので意義があったと思う。
- 部会長 ・学生が思っていたより聞いてくれた。10分では時間が短くやりとりができなかった。
- 事務局 ・先生との打合せでは、いろんな学生がいるのでなかなか聞いてくれないだろうという話だったが、動画を見たり、ブースへ動いて説明を聞くなど45分間座りっぱなしではなかったのもよくて、よく聞いてくれた。
・障がい福祉は知らなかったが選択肢の一つになったという感想もあったのでよかった。1回生なのでこのあとどうされるか。
- 副部会長 ・就職ガイダンスの目的が充分達成できた。3割の学生には興味も植えつけられたので、できればえがよかった。
・もう少し学生自身が障がい福祉について調べて来てほしいのではと思った。
・またこういう機会があれば工夫する点があると思った。
- 事務局 ・動画の中で実際の障がいのある方の姿をみてもらうことができよかった。
・メモを取りながら聞いている学生もあり、説明してくださったみなさんの熱意が伝わった。

- 部会長 ・このガイダンスを受けた学生からの問い合わせはあったらどうか。
- 事務局 ・まだない。
- 事務局 ・本日欠席の部会委員から、「府主催の就職フェアなどにも参加しているが、今回学生と直接話ができ、手応えを感じた」という話を聞いている。
- 部会長 ・参加した学生はまだ1回生なので就職に向けて動き出すのは先になるが、障がい者支援事業所の話を聞いたことを思い出して見学など来てもらえるとうれしい。
- ・事業所見学会の窓口を今後基幹相談支援センターが担うことになるので、他の乙訓にゆかりのありそうな養成校から説明の依頼があれば企画をお願いしたい。
- 事務局 ・西山短大の教授からは来年度実施のお話をいただいている。
- 部会長 ・1年に1ヶ所と限らず、依頼があれば継続してやっていきたい。

4 次年度に向けて

- 部会長 ・今年度実施してきた事業を次年度具体的にどのようにしていくか、協議したい。
- ・事業所見学会チラシの修正をして来年度版をつくる。
- ・新任職員連続講座は、次年度以降は基幹相談支援センターの役割とし、部会としてはバックアップしたい。
- ・人材育成交流会は、今年度の内容を踏まえて次年度も企画する。
- ・就職ガイダンスは、基幹相談支援センターが窓口となって、各養成校からの依頼を受けて調整してもらおう。
- ・就職フェアは、今から実施なのでどうしようか。
- 事務局 ・昨年度はコロナ禍で中止となり今年度初めてなのでやってみないとわからない。
- 部会長 ・今回やってみて、今後継続するなら事業所見学会と同じように基幹相談支援センターが窓口になるかと思う。
- 事務局 ・次回部会開催が2月20日なので、その時点では終了しているので報告できると思う。
- 部会長 ・副部会長に次年度の事業計画のたたき台の作成をお願いする。
- ・次回、就職フェアの報告と、次年度の事業計画を確認し承認いただく予定である。
- 事務局 ・新任職員連続講座第1回の当事者家族の話を限定動画配信する予定だったが、受講者の姿が映りこんで加工できない部分があるので、今回は配信しないことを了解いただきたい。

5 その他

- 部会長 ・京都府の福祉就職フェアが3月5日に実施される。参加事業所にはチラシが配布されていると思う。その他、社協、行政等、広報にご協力いただきたい。